

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意**…組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けてください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付ねじは、増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落の原因となります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 漏水防止のため下記事項をお守りください。
  - ・組立て時に、コーキングシーラーが型材の周りにはみ出すように合わせてください。
  - ・組立てねじは  $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■使用ねじ・部品一覧表

●図中の記号は、使用ねじ及び部品の種類を表します。

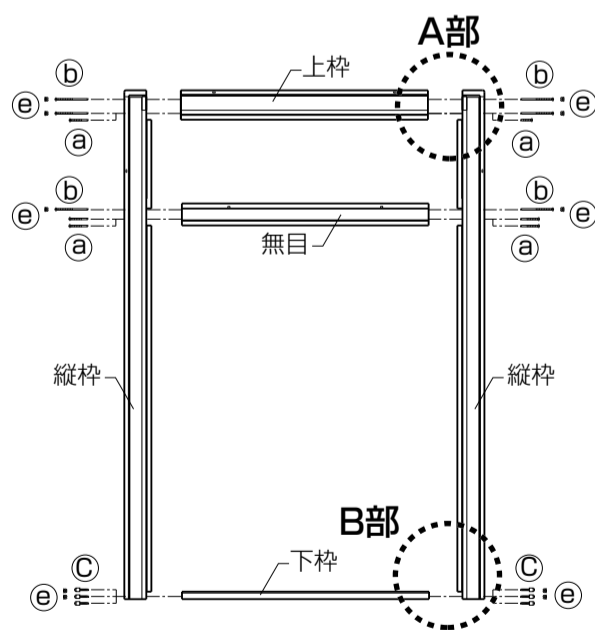
注 1) フラッシュドアへの取付け用

a	b	c	d	e
ナベタッピンねじ φ4×40	ナベタッピンねじ φ4×75	絶縁ボス付き バインド小ねじ M4×25	下枠アンカー	プッシュボタン
f	g	h	i	j
※枠に取付け	※子扉に取付け	※本体に取付け		
			トラス小ねじ M4×10	ガラスライナー (ランマ用)

## ■組立て順序

### ●30・45 親子

※ランマ無しの場合、無目はありません。



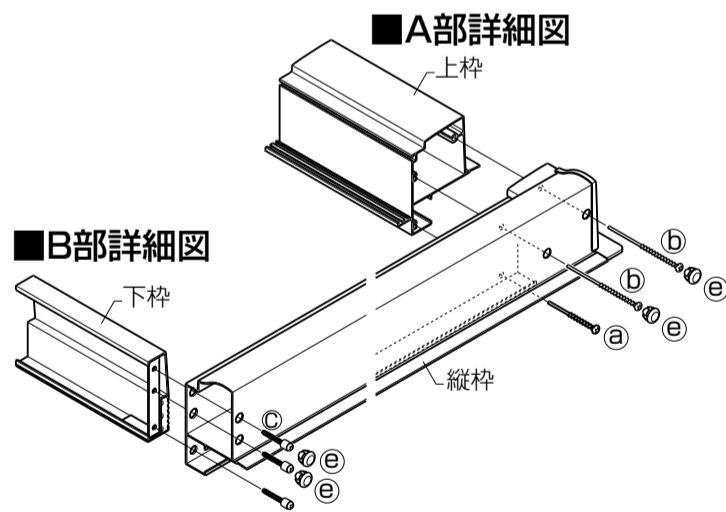
### 【a、bねじの使い分け】

- ①aねじ…ソリット型材部分に使用します。
- ②bねじ…ホロー型材部分に使用します。
- ③eプッシュボタン…ホロー型材の穴ふさぎとして使用します。

## ▲注意

- 漏水防止のため下記事項をお守りください。
  - ・組立て時に、コーキングシーラーが型材の周りにはみ出すように合わせてください。
  - ・組立てねじは  $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

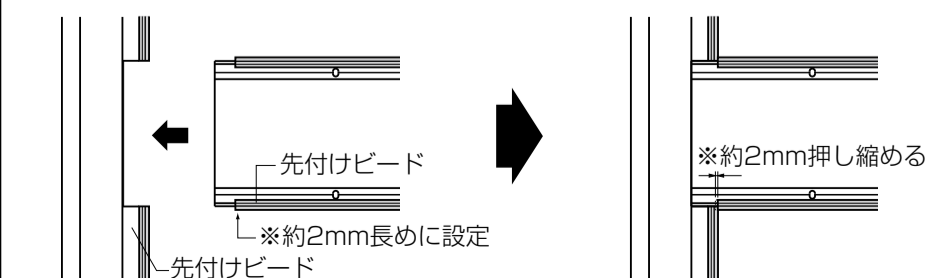
### ■A部詳細図



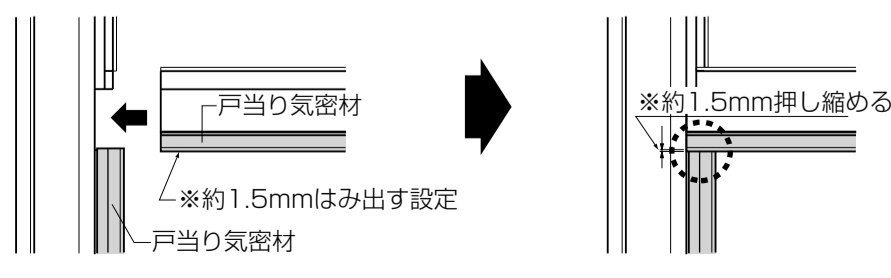
### 【先付けビード・戸当り気密材のコーナー部納まりについて】

●組立ての際、コーナー部の先付けビード・戸当り気密材が正しく納まっているか確認してください。先付けビード・戸当り気密材は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。

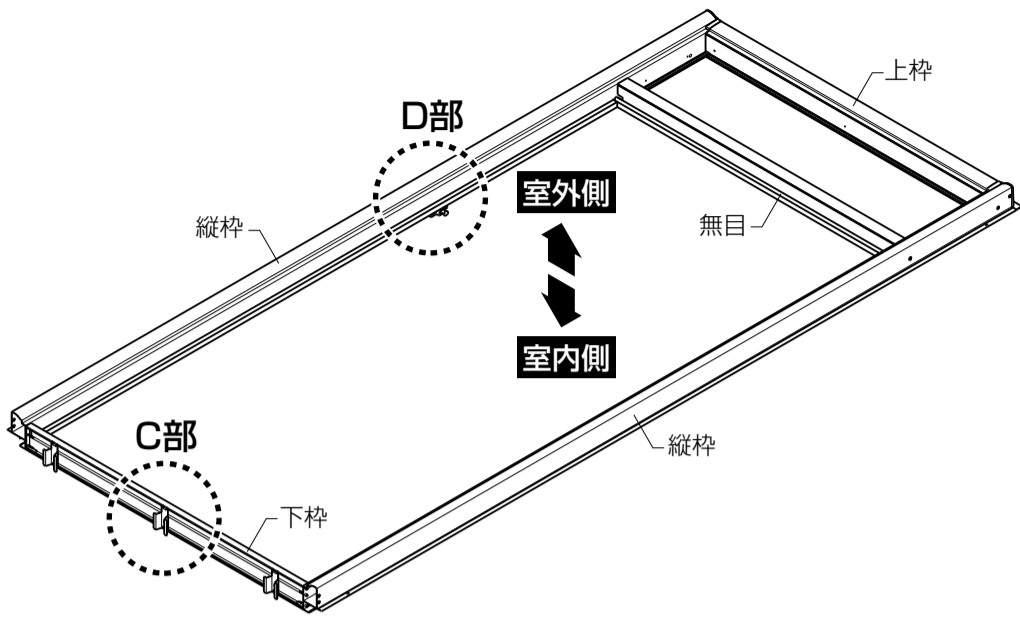
#### ●先付けビード



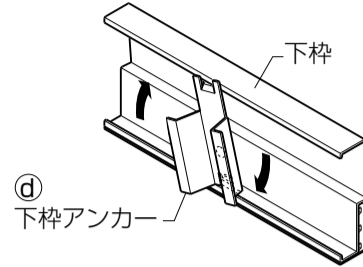
#### ●戸当り気密材



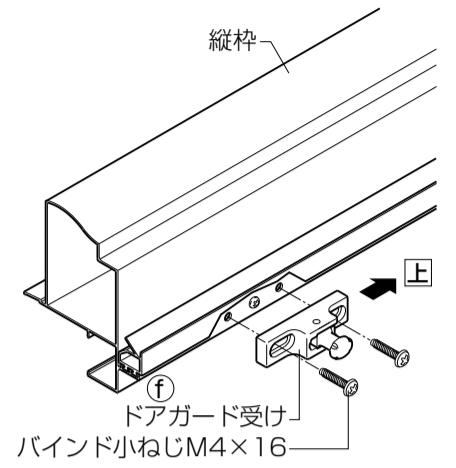
● 30 ランマ付き



■ C部詳細図



■ D部詳細図

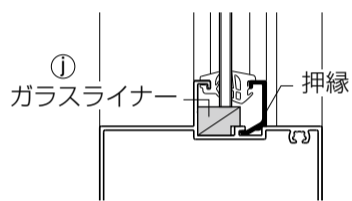


■ ランマ飾り・袖飾りの取付けとガラスの入れ方

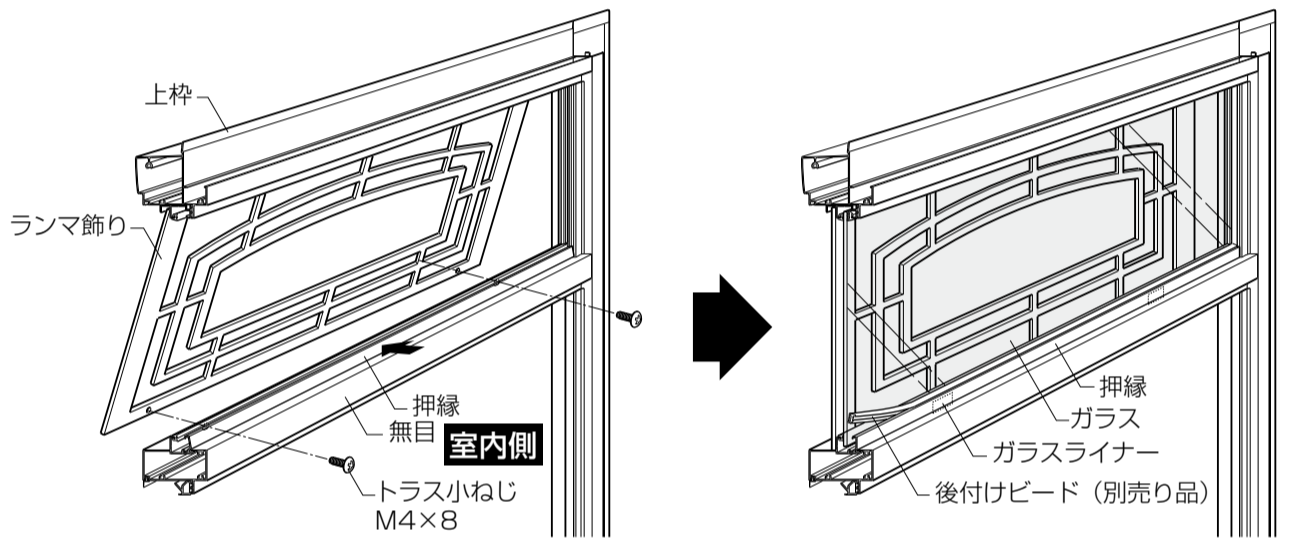
【ランマ飾り】

- 押縁を矢印方向に倒して外します。次にランマ飾りを屋外から差し込み、ねじ止めします。
  - ガラスをケンドンで入れ、ガラスライナーをガラスの下に置きます。押縁を取付け、後付けビード（別売り品）で固定してください。
- ※ ガラスライナーの向きを確認してください。

■ ガラスライナーの納まり  
〈ランマ部〉



※ ランマパネル（別売り品）を使用する場合、ガラスは取付けません。先付けビードも不要となります。取付け説明書は、ランマパネルに同梱してあります。



■ 共通後付けビード

※ シャイングレー・オータムブラウン・ブラックはブロンズ用（B）をご使用ください。

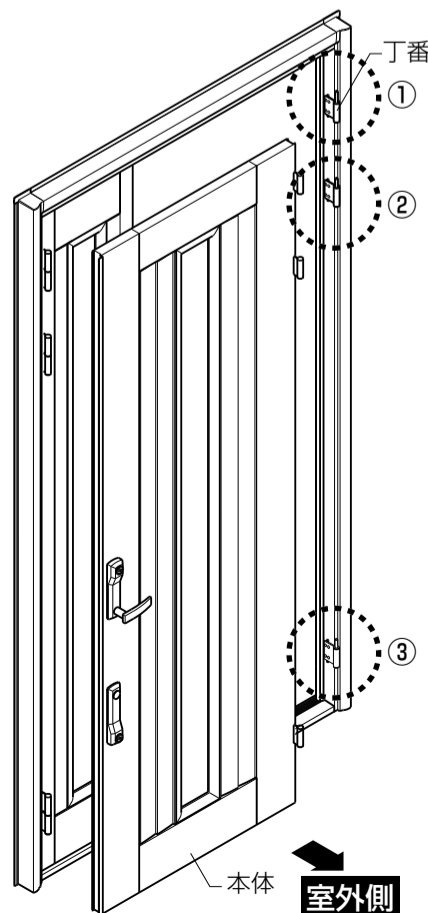
20m (小箱入)	ガラス厚	3mm用	4mm用	5mm用	6mm用	6.8mm用
	色	商品コード	商品コード	商品コード	商品コード	商品コード
	B	A3F03	A3F04	A3F05	A3F06	A3F07
	W	A8F03	A8F04	A8F05	A8F06	A8F07

■ 丁番の取付けと本体のつり込み

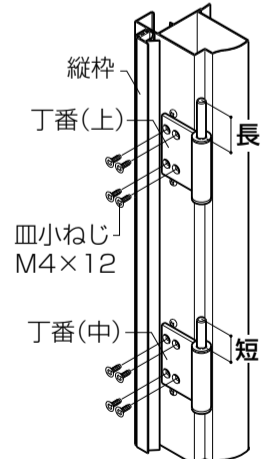
- ① 丁番は上・中・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は中・下になるように取付けます。（取付けねじは丁番セットに同梱されています。）  
本体側は、皿小ねじ M4 × 20（長い方のねじ）で取付けてください。
- ② ドア本体を①・②・③の順でつり込みます。

▲ 注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けてください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。
- 丁番取付けねじは、増締めをして締付けてください。（締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ })



■ 上・中部丁番詳細図



■ 下部丁番詳細図

